

めざすは 29年3月末の開通 西日本一の渋滞を解消します

近年、高速道路で頻繁に発生する交通渋滞。皆さんお困りだと思います。また、災害や事故などで道路が断絶したら、生活への影響は計り知れません。

こういった問題を解消するため、新名神高速道路が計画されたんです。

私たち兵庫事務所では、川西市内を通る高槻JCT（ジャンクション）から神戸JCTまでの約40kmのうち、兵庫県内の約20kmを担当しています。工事は今、最盛期を迎えています。

完成すれば、中国自動車道や名神高速道路などと一体となって交通機能を補完できるようになります。

例えば、西日本で1番といわれる中国道の宝塚IC（インターチェンジ）付近の渋滞は解消され、「高速性」「定時性」「快適性」「安全性」といった、高速道路



西日本高速道路(株)
関西支社
新名神兵庫事務所長
伊藤哲男さん

高速道路株式会社法で設立された特殊会社。通称「NEXCO西日本」。西日本地域の高速道路や自動車専用道路を管理運営。

の機能がさらに発揮されるようになるでしょう。

また、大都市間を結ぶネットワークを複数持つことは、とても重要なことなんです。地震や豪雨といった災害や事故などで、いずれかの道路が使用不能となっても、代替路線があることで、皆さんの生活への影響を最小限に食い止めることができますから。

高槻JCT～神戸JCTの開通予定時期は31年3月末となっていますが、お客様の利便性を考え、できるだけ早い時期、具体的には、29年3月末の開通をめざして工事を進めています。

川西にはICが開設されるので、工事の規模もそれに伴って、大きくなっています。安全には十分に気を付けて工事を進めてまいりますので、引き続きご理解ご協力をお願いできればと思います。

神戸と名古屋を引き寄せる道路建設。新たなまちづくりが進んでいます

一の鳥居周辺や西畦野などで見掛ける大規模な工事

私たちのまちに、大きなまちが通る

高速道路とインター線。まちが変わればまちが変わる

(仮称) 川西インターチェンジ周辺で動き出す構想

目の前で作られている道路は私たちに何を運ぶのでしょうか

みちが変わる まちが変わる

関西圏と中部圏を結ぶ全長174km
高槻～神戸間、開通まで1年強

2大都市をつなぐ新たな大動脈

愛知・滋賀・京都・大阪・兵庫をまたぐ新名神高速道路。平成17年3月に草津JCT～草津田上が、20年2月には亀山JCT～草津田上が開通。各区間の開通予定は次の通り。神戸～高槻30年度、高槻～八幡35年度、八幡～城陽28年度、城陽～大津35年度、亀山西～新四日市30年度、新四日市～四日市27年度。1日でも早い開通をめざして整備を進めている。





兵庫県阪神北県民局
宝塚土木事務所長 松本正利さん

川西市には、国道173号と県道川西篠山線という、南北を走る大きな道路はあるんですが、それを東西につなぐ大きな道路はありませんでした。

新名神の計画が立ち上がって、IC(インターチェンジ)も出来るとなると、当然そこにつながる道が必要になりますよね。

市の主要南北道路を東西に結ぶ

インターチェンジにつながる道は川西市の東西を結ぶ生活道路に

そのための道として工事を進めているのが「県道川西インター線」なんです。

もちろんICへのアクセスというのが一番の役割なんですけど、東畦野から石道までつながりますので、川西市の北部地域を東西に結ぶ生活道路にもなります。

自転車や歩行者に配慮

沿道の景観に配慮しつつ、自転車や歩行者も安全



生活が変わる

私たちのそばにICとインター線

東畦野から石道まで
県道川西インター線

この道が出来たことで、市外から来る人たちが、「川西っていいところだね」「またぶらっと来てみようか」と思ってもらえるような場所になればいいですね。地域によっては愛称で呼ばれている道もありますし、皆さんに親しまれる、また地域が誇れるところになってくれると大変うれしく思います。

地域に親しまれ誇れるところに

この辺りには、少し行けば「日本の里山」と呼ばれる黒川地区がありますし、有名なゴルフ場も多数あります。

ICも含めて、これだけ大きな規模の道路が出来るということは、市の新たな玄関口が出来るということになるでしょう。

で快適に通れるよう、幅の広い自転車歩行者道を整備します。

新名神高速道路の工事現場を見学しませんか

兵庫県阪神北県民局が3月11日(金)午後2時～4時、現場の見学会を開催します(小雨決行)。
代表者が市民であれば、市外の人でも参加可(小学生未満は参加不可。小学生は保護者同伴。自力または介添え者付きで階段を50段程度登れる人)。定員は50人(定員超過の場合は抽選)。申し込みは1月4日(月)～31日(日)(消印有効)に、往復はがきに代表者の住所・氏名・電話番号と参加者(5人まで)の氏名・年齢・性別、(保護者・介添え者含む)を書き、〒666-8501・市役所5階の道路整備課へ。詳しくは5日(火)から(株)ウィニスト Tel0794(62)0204へ(月～金曜日、午前9時～午後5時)。



(仮称)川西IC完成イメージと現況

高槻で名神に合流
京都まで約30分

IC開設に伴いアクセス道も整備
通勤など普段使いも便利に

工事が進む新名神高速道路は、東畦野から石道の間、市内を東西に抜ける形で計画されています。また、西畦野・石道地区間の山間部には(仮称)川西IC(インターチェンジ)が開設されます。ICができることで、特に中・北部からのアクセスが大きく向上。行楽地へ行く場合や、通勤の手段としてなど、さまざまな場面での活用が考えられます。

環境が変わる

私たちのそばにICとインター線

周辺にある豊かな自然環境。その環境と調和した、市の新たな玄関口としてふさわしい場所になるよう、提案された開発や建築を計画的に誘導する土地利用計画を策定しました。

れた開発や建築を計画的に誘導するため、「新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画」を策定しました。

計画では対象区域を役割別に、4つのゾーンに区分けしました。まず前提として、森林保全や敷地内の緑化、周辺景観との調和といった、共通のルールがあります。

その上で、豊かな自然を守るために開発を抑制する「自然環境保全ゾーン」、都市近郊で自然を体感できる、また、地域振興のための「プロジェクト対応ゾーン」、道路利用者のための「沿道利用対応ゾーン」、既存の集落・事業所の環境改善として「生活環境改善ゾーン」を設定しています。

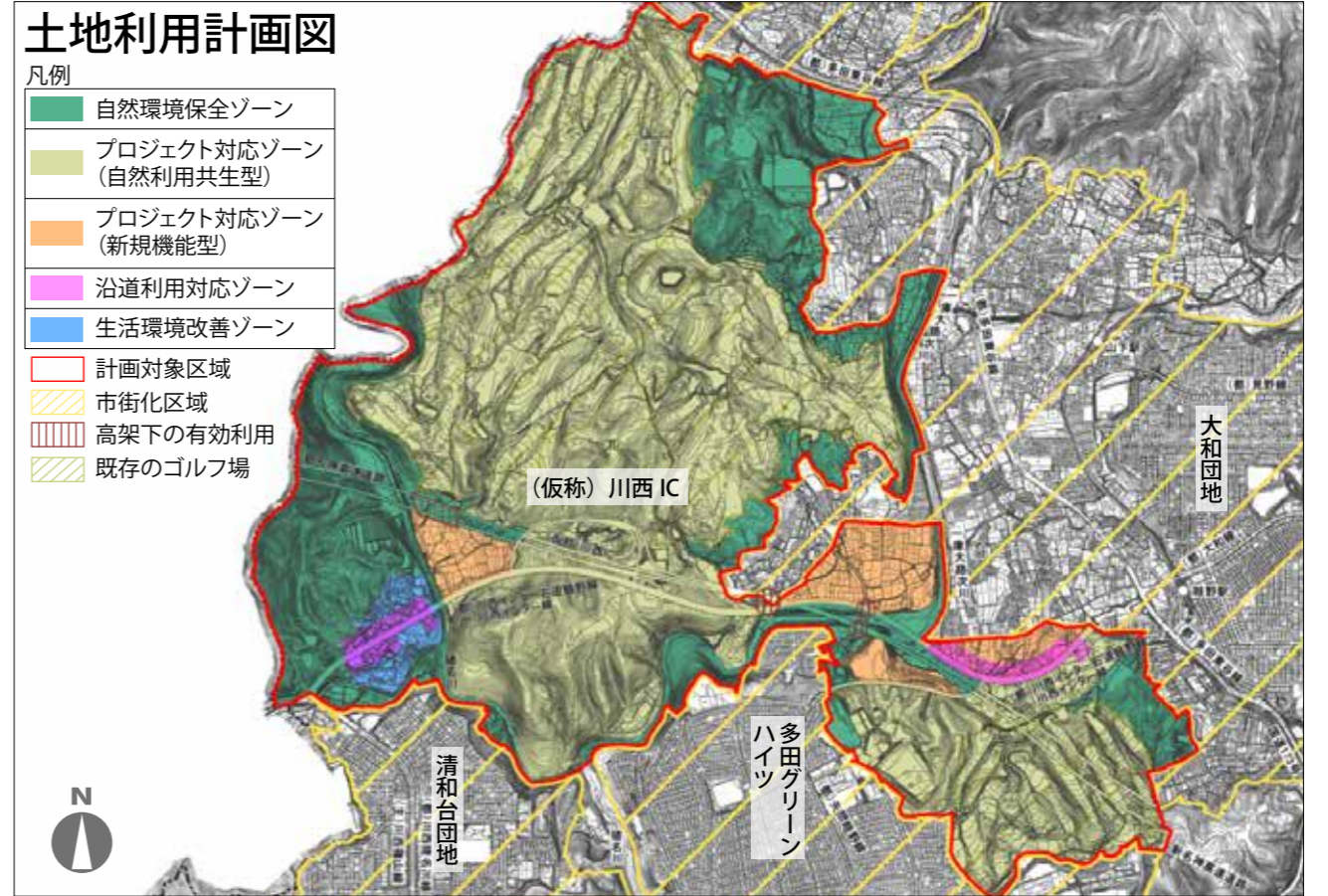
これにより、事業者などから提案された開発や建築で、基準をクリアし、権利者や地域と合意したものが進められるようになります。

これからさまざまな提案があった上で、周辺の豊かな自然と調和した、新たな玄関口のまちづくりが始まります。

土地利用計画図

凡例

- 自然環境保全ゾーン
- プロジェクト対応ゾーン (自然利用共生型)
- プロジェクト対応ゾーン (新規機能型)
- 沿道利用対応ゾーン
- 生活環境改善ゾーン
- 計画対象区域
- 市街化区域
- 高架下の有効利用
- 既存のゴルフ場



地域振興のための施設も

4つのゾーンに分けて提案された開発や建築を計画的に誘導

新名神高速道路「(仮称)川西IC」周辺は、これまで「市街化調整区域」として、地域の環境を守るため、原則として開発や建築を制限してきました。

しかし、ICが出来ることで、人や物の動きが大きく変わり、新たなビジネスチャンスなどを求めて、動き出す企業も出てくること予想されます。

そこで、これまでのように一律に市街化を抑制するのではなく、IC周辺という立地を生かし、市街化調整区域は維持しつつ、地域の活性化に向けて、提案さ

活性化の引き金になることを期待



道路整備課長 奥田徹

新名神高速道路の開通まで残すところ1年強となりました。

市内では、高速道路全体の姿が見えるまで工事が進んでおり、早期に開通されることを願っています。

市民の皆さんにとって、高速道路、特にICが出来ることで、行楽や仕事など、日常生活で利便性が大きく向上するものと思います。また、市域を東西に結ぶ川西インター線も整備されますので、市内の移動が便利になるのももちろん、地域間のつながりにも一役買ってくれるのではないのでしょうか。

西日本高速道路(株)が進める「新名神高速道路」、県が進める「県道川西インター線」、そして、市が進める都市計画道路「矢間畦野線」。同時開通をめざして、3者で工事を進めています。

さらに、緑豊かな環境を守りながら、提案された開発などを計画的に誘導する、地域の土地利用計画も策定しました。これら全てが、市の活性化の引き金になることを期待しています。

分けられた4つのゾーン

全てのゾーンは、現在ある森林を保全するとともに敷地内を緑化。また、建築物や屋外広告物などは周辺の景観と調和したものにしよう設定

■ プロジェクト対応ゾーン

▶ 新規機能型

地域振興のための工場や病院、流通業務施設など

地域振興に主眼を置いたエリア。「道の駅」に相当する施設や、地域の雇用や地場産業の振興といった地域振興のための工場、学校、病院、流通業務施設などを想定

▶ 自然利用共生型

スポーツ施設の宿泊施設や介護老人保健施設など

都市近郊で自然を体感できるエリア。スポーツ・レジャー施設の管理・宿泊施設や介護老人保健施設などを想定

■ 自然環境保全ゾーン

河川や保安林など

自然環境を保全するために、開発を抑制するエリア。河川や保安林などの保全すべき緑地と他のどのゾーンにも属さない土地が対象

■ 沿道利用対応ゾーン

ガソリンスタンドやコンビニなど

道路利用者へのサービス提供に対応するエリア。ドライブインやガソリンスタンド、コンビニエンスストアなど

■ 生活環境改善ゾーン

戸建住宅や日用品の販売店など

既存の集落や事業所の環境改善のためのエリア。想定される用途は戸建住宅や日用品の販売店など